

共同利用施設の再編集約・合理化に関する事例【園芸作物・果樹、関東農政局】

静岡県 とぴあ浜松農業協同組合（新基本計画実装・農業構造転換支援事業：R7～R8）

- 管内3カ所の野菜・果樹集出荷貯蔵施設を再編・集約し、複数品目（トマト、柿、梨、中晩柑、ブルーベリー）を取り扱う施設を整備することで、**利用率向上**及び周年雇用による**雇用の安定化**を図る。
- **AIセンサー等の導入**による選果能力の向上及び業務の効率化により、**労働力削減**や**ロス率軽減**、販売額増加が期待できる。

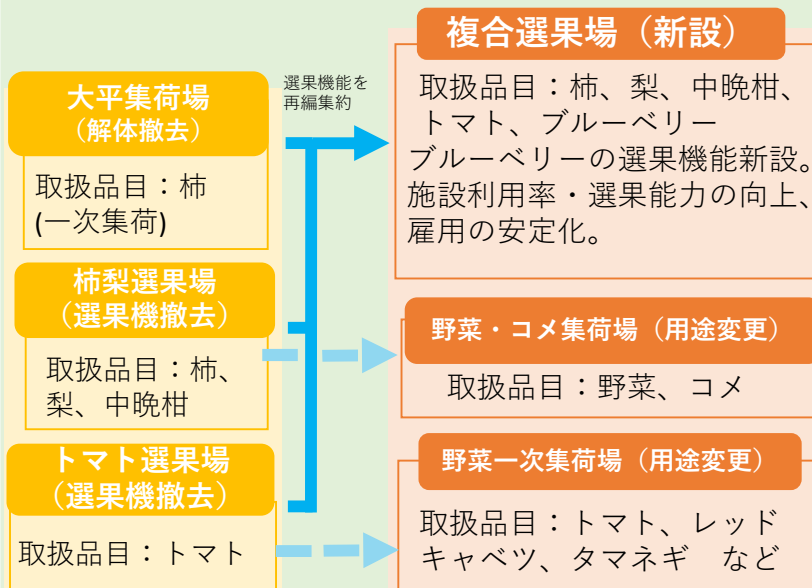
現状・課題並びに再編集約等の内容

【産地の現状・課題】

- 既存選果場は、選果機の老朽化が進み、**修繕費の増加**や**部品調達が困難**になりつつある。
- 生産者の高齢化及び減少に伴い生産量が減少し、**稼働率が低下**している。
- 選果場において目視で判別する**従業員の確保が困難**となっている。

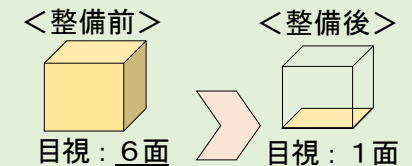
【再編集約等の内容】

- 管内3カ所の野菜・果樹集出荷貯蔵施設を再編し、**選果機能を1カ所に集約した複合選果場を新設**する。

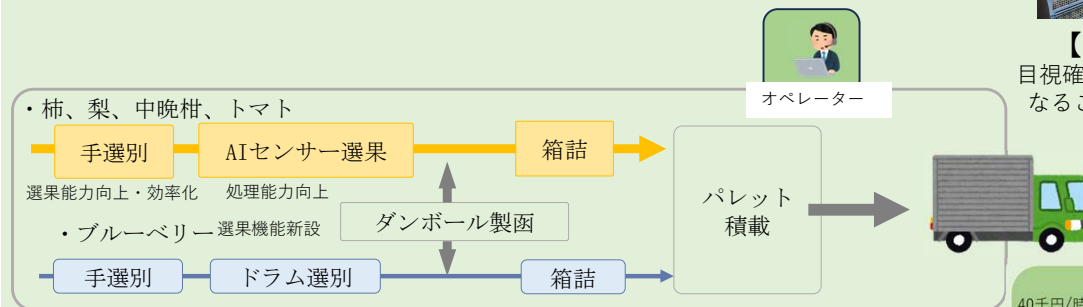


再編集約・合理化等で期待される効果

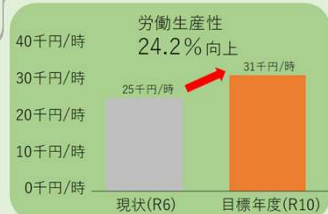
- **AIセンサーを導入**し、これまで目視で実施していた**外観判別**にかかる労働力が軽減（6面→1面）することにより**手選別部の処理能力が向上**する。
- 選果機能を1カ所に集約することで、ダンボール製函やパレットへの製品積載等の共通作業やオペレーターを、品目横断的に同時処理でき、**労働力を削減**できる。



【手選別作業】
目視確認が6面から1面になることで処理能力向上



- フリートレー方式導入によって選果過程における**果実への衝撃抑制**や**選果精度が向上**する。これにより、**ロス率軽減**が見込まれ、**販売額増加**が期待できる。



他産地へのメッセージ

- 品目の枠を越えた複数品目の施設整備のため、各品目ごとに現状分析及び将来に向けた計画を十分に議論した上で、全体計画を検討する必要があり、時間を要した。
- 検討事項が多岐に渡り、関係者も多いことから、早い段階から関係機関と連携し、計画的に進めることが重要だった。